

# 2025年度 第2回AMライン幹事研究会 かから版

2025/7/2  
1班：井上

(目的) ライン幹事研究会企業訪問によるトピックスを記録に残すとともに、幹事と共有し、自社、自職場で横展したいものは横展する。

|  |                     |   |
|--|---------------------|---|
| 日時： '25年 7月 2日 (水)<br>9時～12時   | 訪問先：<br>豊田自動織機 高浜工場 | 参考：<br>高浜市 豊田町 従業員数 3,448名 工場概要：フォークリフト製造 |
| 参加者：内藤副世話人 古賀事務局 井上代表 宮内幹事 鬼頭幹事 山本幹事 浅野幹事 田口幹事 恩澤幹事 永江幹事<br>豊田自動織機：梶山スタッフ幹事 村上スタッフ幹事 岩切幹事 (高浜工場QC事務局：久保さん 奥村さん 中根さん 外園さん 松尾さん) |                     |   |

## 〔説明内容〕

- ・会社概要と全社QCサークル活動取り組み
- ・高浜工場概要と工場QCサークル活動取り組み
- ・工場見学  
カスタマーズセンター愛知（ショールーム）  
人材育成  
道場（安全・環境・品質・組立・溶接・加工・塗装・物流）  
技能五輪（電気溶接・構造物鉄工）  
フォークリフト組立ライン  
工場QCボード  
大型フォークリフト見学

## 〔トピックス〕

カスタマーズセンター愛知での見学風景

初代フォークリフト～最新フォークリフト等 展示

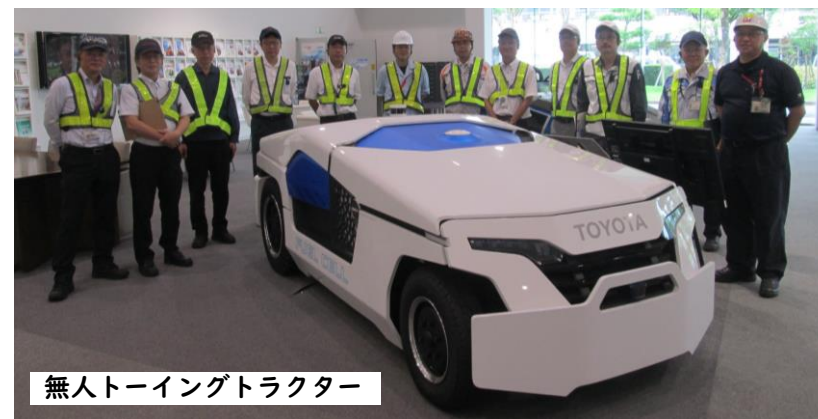


燃料電池トーイングトラクター



## 〔学んだ事〕 良かった点・気付いた点

- ・世話人・推進者・リーダー各階層別の教育がしっかり行われている。
- ・全社発表会を休日のAM中に実施しているが多くの人に参加されている。
- ・発表会において質疑応答を廃止し、講評者(違う職場の人)が対話形式+講和で学びの場としての考え方で進められている。
- ・人材育成の為のエリア（技能道場）が充実しており、技能士の名札が掲示されており、やりがいに繋がると感じた。
- ・大きなスペースに歴代のQC活動の記録が多く掲示されており多くの人の目にとまるので活動の励みになると感じた。
- ・熱中症対策として期間に応じて無料配布されるドリンク類に変化を持たせていた事と、工場内の空調が良く整備されており暑熱対策がしっかりされている。



無人トーイングトラクター

# 2025年度 第2回PMライン幹事研究会 かわら版

2025/7/2  
1班：井上

(目的) ライン幹事研究会企業訪問によるトピックスを記録に残すとともに、幹事と共有し、自社、自職場で横展したいものは横展する。

|  |                       |  |
|--|-----------------------|--|
| 日時：2025年7月2日（水）<br>13:20～16:40   | 訪問先：<br>アイシン高丘(株)本社工場 | 参考：<br>豊田市高丘新町 従業員数：2,439名 工場概要：自動車用鑄造部品、塑性部品等製造 |
| 参加者：内藤副世話人 古賀事務局 井上代表 宮内幹事 鬼頭幹事 山本幹事 浅野幹事 岩切幹事 恩澤幹事 永江幹事<br>アイシン高丘：渡辺副世話人 稲垣スタッフ幹事 鷲津主査 杉本TL |                       |  |

## 〔説明内容〕

- ・アイシン高丘(株)会社概要
- ・本社工場 工場見学 鑄造工場 ⇒ 加工工場  
(工場概要、重筋対策、作業負荷低減、SDGsへの取組、女性のDX活用、防火・安全への取組 他)
- ・教育センター見学  
(からくり改善、安全シュミレーター、デミングロード紹介)
- ・QAセンターでの改善事例紹介
- ・アイシン高丘における小集団活動推進について

## 〔トピック〕 溶解工程での作業環境改善、加工工程でのDX活用



←溶解工程は、1500℃を超える高温の溶湯に接近する作業があるが、冷房の効いた部屋から作業ができるよう作業環境を改善。  
↓DXを活用した生産管理版に女性も参加して改善を行い、生産性向上。



## 〔学んだ事〕

- ・【ワンポイントレベルアップ活動】本人がレベルアップする為に何に取り組むか記入してもらう。  
⇒それに対し推進者、支援者(課長)がコメント記入。  
※成長した姿に期待しますなどコメントはNG。 具体的に取り組む姿に対しどう支援するかを記入させている。
- ・「止めていい、呼んでいい、待っていい、言っていていい、捨てていい」といった作業者にやさしい言い方が人を大切に扱っていると感じた。
- ・溶湯工程の作業者はクーラーの効いた小部屋で監視できるのは良いと思った。
- ・からくり改善は1つにとどまらず、いくつもの組み合わせで考えられており、この考え方がQCCの対策に繋がるのではないかと感じた。
- ・QC検定3級の取得を推進。係長、班長にチャレンジさせていた。

